

技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
1865	アクセスプログラム 技能評価法VA1	令和6年2月21日(水)～2月22日(木)	50	2
開催会場	AP東京八重洲（東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル7F・10F・11F・12F・13F）	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい 及び 到達目標	技能五輪国際大会に出場する選手の効果的な職業能力開発のためには、エキスパート、コーチ並びに関係者一同が協働して指導を行うことが重要とされています。そのためには、関係者一同が国際大会の最新情報やそのノウハウを得ることが必要です。 （到達目標） ・技能五輪国際大会における評価法、採点法について理解できる			
最低限 必要な知識	技能五輪全国大会に関する基本的な知識を有する方。 「技能五輪国際大会アクセスプログラム—一般GEN—」を受講済みであること。			
研 修 内 容	項 目（予定）	講義	実技・演習	
	1 国際大会に向けた情報収集と問題点の共有 （1）技能五輪国際大会における情報の重要性 （2）ディスカッション・フォーラムの活用 （3）実習：ディスカッション・フォーラムによる情報発信 （4）各職種の問題点と情報共有	2 H		
	2 採点法—能力評価の実際— （1）技能五輪国際大会における採点方法 （2）Worldskills標準仕様（WSSS） （3）実習：CISによる採点実習	1 H	7 H	
	3 技能五輪国際大会のための熟練技能者（選手）育成訓練の策定と実際 （1）各職種の強化訓練の事例紹介 （2）訓練計画策定のポイントと指導法 （3）実習：訓練計画の策定演習と指導に関する問題解決	1 H		
	4 ディスカッション （1）各職種の事例研究と情報交換		1 H	
		4 H	8 H	
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	本研修は、技能五輪国際大会に参加する選手、指導者及び関係者が受講すべき内容となっています。本研修の内容を習得せずに選手強化を効果的に行うことはできません。			
研修成果が 活用できる 職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	菊池 拓男 遠藤 雅樹 清水 洋隆 市川 修 （情報通信ユニット） （電気環境エネルギーユニット） （メカトロニクスユニット）			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト (予定)				